

質問書に対する回答

件名) 首都圏中央連絡自動車道 大栄ジャンクション南工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 P8 項目番号13-1 工事用道路の指定	(2)成田神泉土取場～本工事施工箇所（工事用道路②）までの運搬経路は、特記より、19.4kmと考えてよろしいでしょうか。	そのようにお考えください。
2	特記仕様書 P25 項目番号25-4 構造物掘削及び構造物裏込め工	裏込め工B1に使用する仮置き土の土質材料試験頻度については、材料が均一なものとしてとらえ、土工施工管理要領に記載されている使用部位毎の数量にて試験頻度を考慮すればよろしいでしょうか。	そのようにお考えください。
3	特記仕様書 P26 項目番号25-7用・排水管 図番 134/167	P(Po-A)・1・Φ600(Sd-A)及びP(Po-A)・1・Φ800(Sd-A)に使用する間詰砂は購入土を指定していますでしょうか。	指定しておりません。貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	特記仕様書 P38 項目番号25-23 工事用道路整備工	工事用道路整備工Bにおいて、再生クラッシャランを敷き均し・締固めするものとの明記がなされていますが、あくまでも施工費のみの計上でしょうか。RC材の材料費については、簡易舗装工に含まれていることによろしいでしょうか。	特記仕様書25-23-5に記載のとおり、工事用道路整備工Bで使用するRC材の材料費については、工事用道路整備工Bに含まれます。
5	図番7/167 割掛対象表参考内訳書	図面の裏込め工B1 数量総括表(1)の数量内訳として本線 橋梁下部工 大栄橋A1橋台 820.4m ³ 、ランプ 函梁工 第1号函渠27、173.8m ³ 及び橋梁下部工Cランプ橋A1橋台 617.8m ³ とあります。一方、割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 裏込め工B1 下総IC～成田IC間（片道）：大型車421台（土砂A 421台×5.5m ³ /台=2,315.5m ³ ）とあります。上記数量内訳等より、第1号函渠の裏込め工B1は、圏央道 下総IC～成田ICを利用し大栄橋にて東関道を横断して運搬する考えでよろしいでしょうか。	第1号函渠の裏込め工B1は、工事用道路②を使用して行います。

質問書に対する回答

件名) 首都圏中央連絡自動車道 大栄ジャンクション南工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
6	図番124/167、125/167 コンクリートブロック積 詳細図(1)(2)	第1号函渠工、大栄橋、Cランプ橋それぞれのRw-Cb(W)数量表 コンクリートD1-1について、胴込め、裏込め、天端、止水コン クリートの内訳をご教示願います。	閲覧図書をご確認ください。なお、閲覧の方法等については、 入札公告（説明書）6-11に記載のとおりです。
7	図番146/167 仮説工平面図	仮設工平面図において、防じんネット工の設置範囲は、大栄橋 既設橋台から51.2mの設置でよろしいでしょうか。	設計図146/167に記載のとおりお考えください。
8	割掛対象表参考内訳書 工事車両泥落し装置費B	数量内訳（参考）について、 【Aランプ本線合流部】：1基3ヶ月 【Cランプ本線合流部】：1基14ヶ月 敷鉄板：幅1.524m・長さ6.096m×4枚（14ヶ月）とそれぞれの項目に数量が明示されていますが、“散水車：5台”のみ数量が明示されていません。数量記載漏れではないでしょうか。数量について明示お願いします。	貴社の施工計画に基づきお考えください。